

**平成 31（令和元）年度近江八幡市子ども・子育て会議  
第 2 回教育・保育給付部会（要録）**

日 時：令和元年 9 月 3 0 日（月）午後 2 時から  
 場 所：ひまわり館 2 階 研修室 1・2  
 出 席 委 員：◎久家 昌代委員、○田中 裕喜委員  
                   浅井 雅委員、福永 利明委員、小西 ひとみ委員、  
                   児島 めぐみ委員、幸村 浩委員  
                   （欠席）平井 徹委員、大野 康記委員、中井 佳世子委員、北 拡大  
                   委員  
                   ◎：会長等、○：副会長等  
 議 題：（1）第二期子ども・子育て支援事業計画に掲載する取り組みについ  
           て  
           （2）計画における取組等の記載方法と進捗管理について  
           （3）教育・保育給付の量の見込み及び確保の量・確保策について

会 議 内 容

1 開会

2 あいさつ（部会長）

3 議題

（1）第二期子ども・子育て支援事業計画に掲載する取り組みについて

事務局から、第二期子ども・子育て支援事業計画に掲載する取り組みについて説明した。

委員	基本目標 3（3）「健やかな心身の育成」という項目が、基本目標 2 ではなくて、3 に入っているのは何故か。
事務局	基本目標 2 は保健や健康づくり、医療費といった分野となっている。取り組みなどが少し違うので基本目標 3 に入れさせていただいた。
委員	そのことを分かるように書いていただいた方が良いと思う。
委員	基本目標 4（3）と基本目標 2 の（4）違いを教えてください。
事務局	基本目標 4（3）「経済的負担の軽減」は、医療費だけではなく、様々な分野での経済的な援助を集めたものになっている。基本目標 2（4）「医療の充実」は、お医者さんと我々の生活を形作るような施策が載ってくる。取組みを見ていただくと分かっていたらと思う。
委員	基本目標 3（4）で、重点取組にコミュニティ・スクール推進事業があがっているが、家庭や地域の教育力の向上のためだけに実施されていないと思う。
事務局	コミュニティ・スクール推進事業は、地域の方の力を借りて、地域の方の意向を踏まえて、学校運営の決め方などを地域の方に積極的に入っていただいているという部分も多

	<p>くなっているやり方だと生涯学習課から聞いたため、基本目標3（4）に入れさせていただいた。</p>
委員	<p>基本目標4（1）の重点取組、公園等の整備について、公園のトイレは雨が降ると水があふれてきて近寄ることが出来ないし、あふれていなくても物陰になっているので、行かせるのが怖いという話が、毎年保護者同士の話し合いの場が出る。資料3の95に「公園遊具等の安全確保」とあるが、遊具だけではなく周りの設備、トイレも含めて考えていただけないか。</p>
委員	<p>重点取組の中で、新規というのは、今までいっさいやってこなかった事業なのか、文言として追加したのか。</p>
事務局	<p>どちらもあると思う。コミュニティ・スクール推進事業とかふるさと学習は、比較的まだ新しい取り組みと思っているが。</p>
委員	<p>ふるさと学習は、呼び方は違うかもしれないが、昔からやっていた。コミュニティ・スクールは、地域の方に、学校運営に入り込んでいただいて、共に学校運営を推し進めていこうという事業で、全国的にもここ数年で出てきた事業。</p>
委員	<p>コミュニティ・スクール事業で、学校協議会が学校運営協議会に変わり、より委員の意見が運営に反映されていくと思うが、もっと他にまちづくり協議会などで地域の人達に働きかける施策はないのかと思う。せっかく、それぞれにコミュニティセンターがあるのだから、一緒に協力してもらって、上手に地域や家庭の教育力を推し進めていける方法はないのかと。</p>
委員	<p>是非ともこの重点取組は確実にやり遂げた、全部ではないけれどもこれとこれは確実にやり遂げた、となるように、全市を挙げてやっていけるような体制の構築も合わせてお願いできたらと思う。</p>

（2）計画における取組等の記載方法と進捗管理について

事務局から、計画における取組等の記載方法と進捗管理について説明した。

委員	<p>資料4のグレーの箱の取組と取組概要について、他の資料では重点取組、取組内容とあるので、同じ表現の方が良いと思う。</p>
事務局	<p>まとめさせていただく。</p>
委員	<p>目標値と実際に数値が出た時にどうなるか。</p>
事務局	<p>翌年度当初に委員のみなさんに評価していただく時間を持たせていただく。</p>

(3) 教育・保育給付の量の見込み及び確保の量・確保策について

事務局から、教育・保育給付の量の見込み及び確保の量・確保策について説明した。

委員	資料5の31年5月の状況から、1号ではなくて2号の方が増えていくという傾向にあるのではないかと思う。
事務局	その通りと考えている。説明で申し上げたように、一斉募集の申し込み人数で次年度の保育希望の見込みがある程度予想できるので、それを踏まえて、次回の部会で検討をさせていただきます。
部会長	見込み量及び確保の量・確保策については一斉募集の状況も踏まえて次回の部会において引き続き検討するという事によろしいか。
委員	(委員了承)